

ベタニヤホームだより



社会福祉法人 ベタニヤホーム
〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-4-1
電話 03 (3631) 0 4 4 4
FAX 03 (6659) 6 6 7 2
発行責任者 網 春子

2023年夏号 第146号

社会福祉法人ベタニヤホームイースター礼拝 「復活の朝〜聞こえてくる声〜」(ヨハネによる福音書20章1節〜18節)

日本福音ルーテル小岩教会 牧師 内藤 文字
(社会福祉法人ベタニヤホーム評議員)



1. 十字架までの道のり

聖書のイエス・キリストは、私たちの救いであり十字架に勝利され、永遠の命への道を真実に備えてくださいました。このイースターに御言葉に耳を傾け、共に霊の糧を頂き、感謝と讃美を捧げましょう。

イースターの喜びを分かち合う前に、もう一度「十字架」の意味を知り確認いたしましょう。当時、十字架は大変残酷な処刑の方法でした。犯罪の中でも、大変重い犯罪を起した者が処せられる刑でした。ではイエスさまは、そんな極刑に処せられるような犯罪を起したのでしょうか？ 大変な暴力を振るい、騙したり、うそをついたんでしょか？ 人を殺したのでしょうか？ いいえ、そうではありません。そんな罪を犯したのは私たち人間の方です。イエスさまは言いました。「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのものに来なさい。休ませてあげよう。」(マタイ11:28) ま

た、「人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を捧げるために来た(マタイ20:28)」と話されました。このみことばのように、主イエスは人を愛し励まし癒やし、孤独な人の友となり、誘惑を受けやすい弱い人に、真実の道を教え、導いたので。そして、十字架は、私たちの罪を贖うための、救いの業であったのです。

十字架はどんなに苦しいものだったでしょう。しかし逃げて行かれることはなく、ご自分に与えられた道を歩み尽くされました。私たちは、自分自身が苦しみを受ける時、絶えず主が、私たちの苦しみに共感してください、この試練を歩む私たち一人一人に寄り添い、一緒に乗り越えてくださることがわかってくるのです。

2. マグダラのマリリア

今日のヨハネ20章1節には、「週の初めの日、まだ暗いうちに、マグダラのマリリアは、墓に行った。」とあります。マグダラのマリリアは、朝が明けるのを待ちきれない…、早く墓へ行きたい思いが強かったのです。しかし、夜明け前にたどり着いた墓は、なんとからっぽであったのです。「主が墓から取り去られました。」と置かれているのか、わたしには分かりません。」という言葉が、3回も繰り返されています。(2節、13節、15節) 遺体を誰かが盗んだ…。彼女に

はそうとしか考えられなかったでしょう。マグダラのマリリアは、最初にルカ福音書8章に登場します。「7つの悪霊を追い出していただいたマグダラの女と呼ばれるマリリア」と紹介されています。7つの悪霊とは、大変厳しい状況の中に生きていたことでしょうか。病氣と人々からの差別的な扱い。多くの苦しみを背負い、孤立していたと想像できます。しかし、そのような状況から救い出してくださいましたイエスさまに感謝で一杯だったことでしょう。

しかし、そのイエスさまは十字架につけられ亡くなってしまった。愛する人を失った悲しみの中、朝早く、彼女は墓へ向かったのです。墓の中に、ご遺体であっても愛すべきイエスさまの姿を求めていたのでしょうか。しかし墓に遺体はなかった。あるべきはずの亡き方がない。その事を、ペテロとヨハネに知らせに行きました。

再び、ヨハネとペテロが墓に戻ってきたときも、マグダラのマリリアは墓の外でイエスさまの死を悼んで泣いていました。しかし、その時、墓の中から天使の声が聞こえて来ました。「なぜ、泣いているのか。」「わたしの主が取り去られました。」そして、マリリアは後ろを振り向きました。そこにはイエスさまが立っておられました。けれど、過去に浸っていたマリリアにはそれが「主」であるとは認めることができませんでした。

3. わたしの名前を呼ぶ主、イースターの真実

イエスさまは、今度は「マリリア」と名前を呼ばれました。この呼びかけでマリリアは声の主が誰であるかを知り、再び後ろを振

り向きました。名前と呼ばれたとき、とっさに「ラボニ（先生）」と叫んだ、とあります。

イエスさまの「死」に向き合っていたマリアは、生きているイエスさまの「命」へ方向を変え、向きあったのです。復活の主に会う！それはこれまでの私たちが「死」の現実に絶望してしまうことから、一転、「永遠の命」への喜びの救いへの招きを受けることです。命の源である神は、罪に死すべき人間の命を、主イエス・キリストの十字架の業を通して、救いの道へと導いてくださったのです。

イエスさまは、愛するあなたの名前を今、呼んでおられます。

私の家は、犬と猫を飼っていました。不思議にも同じ年の2016年の6月、犬のジロー、猫のトラは、14歳と21歳で、天に召されました。今日は猫のお話をします。猫のトラは、名古屋で捨てられていた猫でしたが、生まれて多分2週ほどで、うちで飼うことになりました。名前は、悩んだのですが、めずですが、その姿から取って、「トラ」としました。トラちゃんは、気性の荒い雌猫でした。賢い所もあり、2年目くらいにある時、家族で、実験に呼んでみました。「トラちゃん」「トラすけ」とらっちゃん」と言つと全部「ニャーオ」と答えます。違う名前をとらに向かつて「たろう」「じろう」「けいこ」なんて言つても、返事はしません。「トラ」と言つ音を長い間に覚えたのでしょね。「賢い」と家族で喜んでいましたら、近年ある研究で、50%ぐらいの割合で、猫は自分の名前を知っていると発表があつて、なるほどと感心しました。

私たちも名前があり、呼んでいただくと思いません。間違えませんか。

イエスさまが、今日のマゴダラのマリアを呼んだように、私たちも名前を呼んでいただいていることを信じ、



喜んで答えてゆきたいです。

4. イエスさまの羊のたとえ（ヨハネによる福音書10:1-18）

イエスさまの羊の話では、「わたしの羊はわたしの声を聞き分ける。」というお話があります。当時、羊は群れで飼われていて夜は一緒の中に囲われていました。朝になると、それぞれの飼い主が羊を呼んで連れに来るのですが、羊はちゃんと、主人の声を聞き分けて出てくると言います。何人かの羊飼いの中から、「あ、これはご

主人の声だ。」と判るんですね。自分をわかつて大事にしてくれる。その声には安心があり、信頼しているのですね。わたし達は、イエスさまをよく聖書で知り、その真実の教えを覚えて自分にとって本当に信頼できる救い主であることを学びましょう。また、違う羊飼いのついていけないように注意することも大事ですね。聖書の教えを変なふうに変えて、うそを教える宗教もありますから。イエスターは喜びと感謝の日です。主イエスさまが復活されました。心より感謝いたします。

創立100周年記念 主日礼拝とディアコニア講演会 「ディアコニア・ミッション」今日の地域社会を創り出す」を開催

～日本福音ルーテル聖パウロ教会・社会福祉法人ベタニヤホーム共催～

去る7月23日（日）、社会福祉法人ベタニヤホーム創立100周年を記念して、日本福音ルーテル聖パウロ教会との共催により、主日礼拝とディアコニア講演会「ディアコニア・ミッション」今日の地域社会を創り出す」を開催いたしました。



大変暑い中、リモートでの参加も含めご列席、ご参加いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。おかげさまで、多数のご出席をいただき、とても有意義なひとときを皆様と共有することができました。

午前の聖パウロ教会での主日礼拝には、ベタニヤホーム各施設から職員も出席させていただきました。午後からは母子生活支援施設に会場を移して、教会信徒の皆様や各施設の職員と一緒に、職員たちによるお昼のカレーライス

を味わっていただいた後、講演会にご参加いただきました。ディアコニア講演会講師としてお招きしたのは、主日礼拝で説教を行っていただいたルーテル学院大学学長の石井基夫先生です。「わたしたちの間く声く神のいつくしみを共に生きるために」と題し、ご講演をいただきました。

100年目のこの時に、こうした機会がいただけたことに感謝しつつ、これからもこうした場を持ち続けていけるよう努めてまいります。



創立100周年記念会を開催します

社会福祉法人ベタニヤホームは今年、創立 100 周年目を迎えます。

私たちの活動は、大正 12 年(1923 年) 9月1日に発生した関東大震災による被災母子の救護から始まりましたが、その後まもなく、東京大空襲という大変悲しい出来事も経験いたしました。

草創期から苦難のあゆみが続きましたが、先達者たちはこうした試練や時代時代の困難をいくつも乗り越え、今日に至るまで、キリスト教社会福祉に携わる私たちが果たすべき使命と法人のあり方について明らかにしてきました。

こうして、100 年目の今日もベタニヤホームの働きが変わることなく在ることは、支援を必要とする子どもたちをはじめ誰もが安心して暮らせる地域社会づくりをめざして、必要としてくださるだけでなく、ともに汗を流して、ともに時を過ごして下さったたくさんの方々のご理解とご協力があつたからこそと強く感じております。

改めて、ベタニヤホームのこれまでの働きとあゆみをお支えくださったすべての皆様に深く感謝を申し上げますとともに、いつまでもベタニヤホームの隣人として在っていただきますよう衷心よりお願いを申し上げます。

今年度、100 周年を記念して企画した各記念事業は、これまでの法人のあゆみについて振り返り、今一度キリスト教社会福祉の精神について理解を深め、そして、これからのベタニヤホームが果たすべき使命と役割、目指すべき姿についてともに考える機会としたいと考えております。

当法人と共にいてくださる皆様にもぜひご参加いただき、このかけがえのない時をご一緒できれば誠に幸いです。

記念会プログラム

◆第1部～記念礼拝 会場：日本福音ルーテル聖パウロ教会・法人施設

- ・日 時 令和5年9月16日(土) 午前10時～11時30分
- ・司 式 日本福音ルーテル聖パウロ教会 小勝奈保子 牧師
- ・説 教 日本福音ルーテル教会 清重 尚弘 牧師

※ 第2部記念会会場(すみだリバーサイドホール)へ移動用バスを用意(往路のみ)

◆第2部～記念式典～ 会場：墨田区立すみだリバーサイドホール(2階)

- ・日 時 令和5年9月16日(土) 午後1時～1時50分(予定)
- ・場 所 墨田区吾妻橋1-23-20
- ・内 容 理事長挨拶/来賓ご挨拶・ご紹介/功労者表彰

◆第3部～記念講演会～ 会場：第2部と同会場

- ・日 時 令和5年9月16日(土) 午後2時～4時
- ・基調講演1 ～思い出とともに～
「東京ベタニヤホームの福祉活動に期待」(仮題)
講師：九州ルーテル学院大学 名誉教授 潮谷 愛一氏
- ・基調講演2 ～未来へ向かって～
「包摂と共生の社会づくり～社会福祉法人が果たすべき役割」(仮題)
講師：明治学院大学 名誉教授 松原 康雄氏

※ 記念会場(第2部・第3部)では、法人のあゆみや今の様子などをパネル展示します。

お問合せ

社会福祉法人ベタニヤホーム
法人本部

電話 03(3631)0444
FAX 03(6659)6672
Email honbu@bethanyhome.jp

◆第2部・第3部会場案内

交通機関

- 東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン)「浅草」下車… 徒歩5分
- 東京メトロ銀座線「浅草」下車…………… 徒歩5分
- 都営地下鉄浅草線「本所吾妻橋」下車…………… 徒歩5分
- 都営バス「吾妻橋一丁目」[本所吾妻橋] 下車…………… 徒歩5分
- 都営バス・京成タウンバス「リバーピア吾妻橋」下車… 徒歩2分
- 墨田区循環バス<南部ルート(両国・錦糸町)>
25墨田区役所(勝海舟像入口) 下車…………… 徒歩1分

給食室だより ～こひつじ保育園～

こひつじ保育園では、夏になると各クラスで夏野菜の栽培を行います。今年はミニトマトやナス、スイカなどを育てています。

4歳児クラスでは、子どもたちが収穫した新鮮なトマトを、栄養士が子どもたちの目の前で8等分に切り分け、皆で食べました。切り分けている間、皆は真剣な顔で見守っていました。

トマトを口に入れた瞬間、パッと笑顔になり、「おいしいね!」「甘い!」と言って食べていました。夏の日差しをたっぷり浴びたトマトは、甘くとても美味しく育ちました!

子どもたちにも自分たちで育て、収穫し、食べるといった経験を通して食材に対する興味を感じてもらえたと実感しました。



母子生活支援施設ベタニヤホーム

●オンライン交流から対面交流に向けて●

母子生活支援施設ベタニヤホームの学童活動では、3年前から長野県飯田市にある上村小学校と交流会を行っています。「子どもたちに夜の星空を見せたい」という職員の思いを実現させるべく、2019年に現地での打ち合わせを始めました。

2021年に、新型コロナウイルスにより世界中が人々の行動に制限がかかり、なかなか対面で会うことができなくなりましたが、オンラインで交流会をすることになりました。

2023年7月には、ベタニヤホームと上村小学校の子どもたちで合同キャンプを実現させることを目標に準備を進めています。子どもたちには、テレビ越しで交流を深めた友人と対面で会い、「一緒にご飯を食べ」、「一緒に笑い」、「一緒に遊び」リアルな関わりの楽しさを実感してもらいたいと思っています。



菊川保育園

●地域との関わりを●

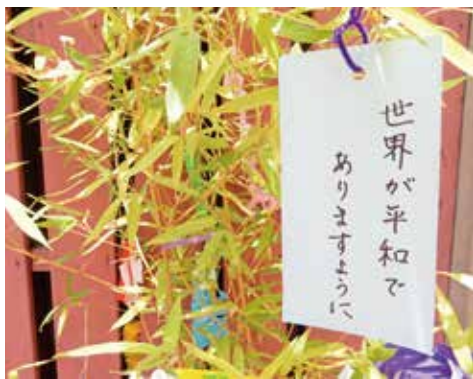
「コロナがら類になり、菊川保育園では色々な活動を復活させようと考え始めています。水遊びやクッキング、ボランティアなど、3年ぶりに再開するにあたり、「出来る事」に加え「リスク」も一緒に考えなければいけないと話し合いを重ねての再開です。

そんな中、「そろそろ地域のおじいちゃん、おばあちゃんを保育園に呼んであげたいね」と、職員から声が挙がりました。手紙のやり取りだけで暫くお会い出来ない方もいらっしやる中、園として「招く側の考えだけでなく、来訪される方がどういう参加を希望されるかアンケートを取ろう」ということになりました。

江五のつどいを通じて頂いたお返事には「散歩」「行事の観覧」への希望だけでなく、「昔遊びの伝承」「身体が付いていかないかもしれないからアイロンがけなら」と、出来る事へのアイディアもあり、有難い気持ちでいっぱいになります。

花の日礼拝後の花のお届けでは、今回初めてお届けした方が70年前の卒業生だと分かり、びっくりする事もありました。

地域との関わりも少しずつ増やしていきたいと思っています。



「地域の願いとつどい」



「お返事ありがとうございます」

富士見保育園

●おひろめ会 2023●

今年度から生活発表会の形式を変えて、6月に進級してから2カ月の子どもたちと合わせた演目を考え披露するおひろめ会を行いました。

3歳児は探険隊、パイナップル、おぼけ、新幹線の中から好きなダンスを選びました。初めて立つステージに緊張を見せる子どもたちでしたが、かわいらしく踊っていました。

4歳児は『3匹のこぶた』『スイミー』の物語をリトミックで表現しました。

3歳のときから始まったリトミックですが、子どもたちは毎回とても楽しみにしていて、自分たちの題材にも嬉しそうに取り組んでいました。

「わたしたちはこういこうただよ」とお互いが見せ合ったり、一緒に踊ってみたりと楽しそうなお子どもたちでした。

5歳児は「劇団すみれの子」という演目で、こま、あやとり、わらべうたなど日常で楽しんでいる遊びを取り入れ、一人ひとりセリフも入れた劇を披露しました。

最後には手話にも挑戦し、『にじ』の歌を手話付きで歌いました。

それぞれの練習をずっとそばで見ている子どもたちは、違う演目を真似してダンスやリトミックをやってみたり、わらべうたや手話をやってみたりとても楽しんでいました。

4月に進級して、少しお兄さんお姉さんになった自分たちの姿を大好きな家族に見てもらえて、照れながらも嬉しそうなお子どもたちでした。



「劇団すみれの子 こま」



「リトミック 3匹のこぶた」

こひつじ保育園

●いちご組のいちご摘み●

いちご組の子どもたち（1歳児）は歌遊びが大好きです。保育者の歌いかけににこにこ。

歌に合わせて体を揺らしたり語尾をあわせて歌ってみたり、クラスみんなが楽しんでます。

そこで『いちごばたけ』の歌に手振りをつくり手遊びにしました。すぐにお気に入りと入りとなり友だちが歌い遊ぶ姿を見たり『苺』への関心を持つようになり、楽しみが増えました。

製作遊びでも苺を作りました。赤い花紙を小さく握ります。子どもたちは面白がって遊び100個以上の苺ができました。それを使って畑を作り苺摘みごっこも始めました。

苺が壊れないようにそっと摘み、嬉しくて手から離せない程。毎日、畑を保育者が設定するとワクワクした表情を見せていました。

6月下旬、親子交流会があり保育活動の紹介として苺摘み遊びをすることにしました。

摘み取った苺は（繰り返し遊ぶためにかごに入れて元に戻して遊んでいた）パックに入れてお土産です。

子どもたちは楽しく手遊びや、たくさん苺を摘んで喜び、保護者の方々はその姿に喜んでくださいました。

私たちは保育を通して喜びを分かち合う事を学びました。



法人本部からの報告

◇理事会開催報告

〈第1回〉

令和5年6月8日に、令和5年度第1回理事会をリモートで開催し、左記の議案すべてについて決議を受け承認されました。

議案第1号 令和4年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分積立金及び積立資産の積み立てについて

議案第2号 令和4年度菊川保育園拠点区分積立金及び積立資産の取り崩しについて

議案第3号 令和4年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第3号)

議案第4号 令和4年度富士見保育園拠点区分積立金及び積立資産の積み立てについて

議案第5号 こひつじ保育園給食室スチームコンベクションのメンテナンス付きリース契約の締結について

議案第6号 令和4年度事業報告及び決算報告の承認について

議案第7号 社会福祉法人ベタニヤホーム賞金規程の一部改正について

議案第8号 役員等賠償責任保険契約について

議案第9号 次期理事選任候補者及び監事選任候補者の推薦について

議案第10号 次期評議員選任候補者の推薦について

議案第11号 令和5年度第1回評議員会の招集について

議案第12号 令和5年6月26日に、令和5年度第2回理事会をリモートで開催し、左記の議案すべてについて決議を受け承認されました。

議案第13号 理事長の選定について

議案第14号 令和5年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分積立金及び積立資産の取り崩しについて

議案第15号 令和5年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)

議案第16号 母子生活支援施設ベタニヤホーム太陽熱利用温水設備設置工事の請負契約の締結について

議案第17号 富士見保育園新園舎の設備整備に伴う造作家具及び保育用備品購入に係る競争入札の実施について

議案第18号 社会福祉法人ベタニヤホームこひつじ保育園管理規程の一部改正について

議案第19号 評議員選任・解任委員の選任について

◇評議員会開催報告

〈第1回〉

令和5年5月26日に、令和5年度第1回評議員会をリモートで開催し、左記の議案すべてについて決議を受け承認されました。

議案第1号 令和4年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第3号)

議案第2号 令和4年度事業報告及び決算報告の承認について

議案第3号 次期理事及び次期監事の選任について

◇協力ありがとつじげいしました

〈令和5年4月〜令和5年6月まで〉(敬称略)

●ご寄附

〈母子生活支援施設〉 須金有佳子様(玩具)、特定非営利活動法人ソシオキュアアンドケアサポート(化粧品)、UNUチャリティショップ(子ども用衣類)、一般社団法人バンクフォースマイルズ(化粧品、日用品)、東京都蒔蒔協同組合(蒔蒔)、墨田区更生保護女性会(スティックカフエオレ、ほうじ茶オレ)、三菱商事株式会社 三菱商事社会貢献事務局(展覧会チケット)、SJC GROUP 株式会社(キッズニア東京)

〈菊川保育園〉 在園児保護者(食品トリー)、在園児保護者(画用紙)

〈富士見保育園〉 三鈴健太(オムツ)、長野利光(日用品)、元職員家族一同(手作り玩具)

〈法人本部〉 匿名(金5000円)

●地域公益活動(パントリー) 協力団体・個人

モリモト・トラスト株式会社(米)、コストコホームセルルジャパン千葉ニュータウン倉庫店(食品)、認定特定非営利活動法人セカンドハーベスト・ジャパン(食品)、一般社団法人全国食支援活動協力会(食支援)、フードバンク江東(食品)、キューピー株式会社(惣菜サラダ)、株式会社王将フードサービス(お子様弁当)、芙蓉総合リース株式会社(防災食)

●ボランティア

〈菊川保育園〉 佐々木順子(花のアレンジメント)、太田和子(裁縫)、鵜飼泰海(環境整備)

編集後記

ベタニヤホームだより夏号の発行です。今号でお知らせさせていただいていますが、来る9月16日(土)に法人創立100周年記念礼拝・記念会を開催いたします。多くの皆様にぜひ会場へお越しくださいと思います。法人本部までご連絡いただければご案内状をお送りさせていただきますので、お気軽にご一報ください。

100周年記念誌も鋭意作成中です。発行は暮れ頃となりますが、こちらもご期待ください。

保健室だより ~こひつじ保育園~

こひつじ保育園では、プール・水遊びが始まる前に文部科学省が推進している「生命(いのち)の安全教育」の中の一つとなっている「プライベートゾーン」について「プール・水遊びの約束について」の保健指導を行っています。プライベートゾーンとは、水着で隠れる場所(胸・おしり・性器)と口のこと、そこは他人に見せたり、触らせてもいけない、自分だけの大切な部分のことです。



初めて話を伝える3歳児には、絵本やイラストを使いながらプライベートゾーンとは体の中でも特別に大切な部分だということを伝えています。

4・5歳児も絵本やイラストを使いながら質問をすると、昨年話したことを覚えていて真剣に答えてくれました。

自分の体の大切さを知り、自分の体を守ること、自分だけでなく相手のことを大切に思う気持ちにつながってくれるとよいなと思っています。

